第11回みんゆう新聞感想文コンクール作品紹介

小学3・4年生の部 優秀賞

ぼくの考えた分別

八幡小4年　山野井（やまのい）　勇介（ゆうすけ）

ぼくは、ゴミ工場でロボットを使っているなんて、おどろきました。なぜかというと、ゴミ工場は人の手で分別しているのかと思ったからです。ロボットはあんなにきれいに分別できると思わなかったです。

ゴミ工場のロボットは、ふくろのもようによってゴミを分別しているようです。もようが「横じま」のときは「もえる」の箱に入れ、「たてじま」のときは「もえない」の箱にそれぞれ入れます。それい外のもようやむ地のふくろは分別しません。どうしてロボットはそんなかくじつな動きができるのかがとてもふしぎです。きっとぼくなら色が気になってしまったり、集中力がきれてしまいまちがってしまうと思います。でもロボットは、プログラミングがされていて、じょうけん通りに分別することができます。プログラミングによっては、ゴミの大きさや形などのじょうけんによって動きをかえて分別することもできます。ロボットは、コンピュータによってあらかじめ用意されたプログラムの内容を読みとり、指示された通りのしょり理を実行し、命令されたことをくりかえします。ぎゃくを言うとロボットは、プログラミングされていない動きはできないため、じょうけんい外のことは、できません。

今ぼくたちにできることは、ゴミとしてしょ理する前の分別だと思います。いくらロボットが分別しても、ふくろに入れるぼくたちが分別しなければなんのいみもありません。ぼくがゴミを分別することにより、ゴミしょ理のこうりつも上がると思います。そうすることにより地球かんきょうが少しでもよくなればと思います。

「蚊はすごい」を読んで

桜の聖母小4年　三沢（みさわ）　明夏（あやか）

私は力が苦手です。小さい時から、力にさされると、にある障害物の存在が分かることになるそうです。すごいと思いました。

この研究成果は、大きく二つの使い道が考えられています。一つ目は、空飛ぶドローンの改良です。力と同じような仕組みを取り入れれば、小型化できるそうです。ドローンは、空から映ぞうをとったり、土地のそく量をしたり、物を運ぶなど、これからますます人間の生活に必要とされる物だと家族が教えてくれました。私は、もしドローンが小型化したらどうなるのか、ぎ問になり、インターネットで調べました。ドローンが軽いと、飛行時間をのばすことができ、持ち運びも便利になることが分かりました。また、つい落しても、大きな事故になりにくいそうです。

二つ目は、力よけです。障害物を感知する仕組みをさか手にとって風をつくれば、力を遠ざけられる可のう性があるそうです。私は力にさされたくないので、こちらの研究が進むといいなと思いました。

この記事を読んで、はじめて力のすごいところを知りました。とてもおもしろいので、これからも、少しずつ読んでいきたいです。

目指せ定員百パーセント

大山小4年　浅和（あさわ）　晋悟（しんご）

合、十から二十メートル先

「これからどうなるんだろう。」

コロナウイルスが流行し、学校にも行けなかった。友達と遊ぶこともできなかった。小学校最後の一年を家で過ごすのか。運動会も、修学旅行もどうなるのか分からない。私は不安で、しかたなかった。

そんな時、角野栄子さんの記事を見つけた。角野栄子さんは、一年生の時学習した『サラダでげんき』の作者だ。角野栄子さんは、言っている。こんな不安な時でさえ、「今までどおりに生きること」「自分の気持ちいいラインを守ること」と。今までどおりに生きるなんてできるのだろうか。自分の気持ちいいラインを守るなんてできるのだろうか。外にも出られない。友達にも会えないのに。角野栄子さんは、お茶をいれること、洋服に合わせて眼鏡の色を選ぶことをやっているそうだ。それが「気持ちいいライン」なんだって。ふうん。すてき。私はどうだろう。友達とおしゃべりする、運動する、英語に興味がある。これが私の今の「気持ちいいライン」ならやってみよう。会っておしゃべりできない代わりにゲームの通信機能を使って友達とおしゃべり。家の周りでなわとび、マラソン。姉に英語の本を借りてみよう。あれっ、できる。望んでいたことの代わりになるものがある。できると分かると不安な気持ちがなくなる。「自分」をもって大切なんだ。「自分」をもつことで気持ちが明るくなる。そしてその「自分」は一人一人違う。だから、豊かでおもしろい世界なんだね。私の「ライン」が大切なように、他の人の「ライン」も大切にしないといけないね。気持ちいいは違うから。

角野栄子さんありがとう。心配ばかりせず自分をもって生活するね。そして他の人のことも知っていくね。世界を見誤らないために。

「大丈夫、大丈夫。なんとかなるよ。」

と言われているようで、心が落ちつく。だから赤べこは、長い年月たくさんの人に愛されているにちがいない。

多くの人の心が不安になっている今、赤べこパワーで少しでも元気になったり、心強くなったりするならば、赤べこの護符画像がダウンロード出来るのは、いいアイディアだと思う。

赤べこのように、相手を和ませ、受け入れる大きな心を持った人が増えるといいな。そして、私もそうなりたい。

小学5・6年生の部 優秀賞

世界の気温の上昇

柏城小6年　大橋（おおはし）　明莉（あかり）

「『地球の日』温暖化警鐘」私はこの見出しが気になり、この記事を読んでみた。すると、地球温暖化の影響で世界の平均気温が上昇したと書いてあった。私は、去年の台風の時も、新聞に、強い台風は温暖化の影響もあると書いてあったことを思い出した。最近、温暖化と聞くことが多いと感じる。

この新聞記事によると、過去50年で世界の平均気温が0・86度上昇し、今後5年で平均気温はさらに上昇する見込みと書かれていた。0・86度と聞いても、その深刻さはよく分からない。でも、確かに最近、冬に雪が降らなかったり、夏は猛暑日が続いたり、強い台風や豪雨が増えたりと、温暖化の影響と感じることが多い。テレビでは、海水温が高くて、今年はサンマのとれる量が少ないと言っていた。これらの体験などから、温暖化は待ったなしのことだと思った。そして、このまま温暖化が進んだら、私たちの未来はどうなるのか心配になってきた。

温暖化を進めないためには、二酸化炭素の削減が大切だ。だから、私は、マイバッグやマイボトルなど、くり返し使える物を大切に使い、燃やすごみを減らすようにしている。また、二酸化炭素を吸収する森林を守るため、リサイクルされた紙を選んで使っている。これからは、電気も大切に使って、二酸化炭素をもっと減らせるようにしたい。私は、今できることを努力しながら、これから他にもできることを見つけていきたい。

温暖化を進めないために一人一人がやることは、小さな一歩かもしれない。でも、それを多くの人がやって、みんなで協力すれば、もう小さな一歩ではなく、大きな力になる。だから、私は自分にできることを、これからも続けていこうと思う。

「気持ちいいライン」が世界を豊かに

関柴小6年　小関（こせき）　春陽（はるひ）

赤べこの力

玉川一小6年　須藤（すどう）　由衣（ゆい）

我が家に赤べこがやってきた。父と母が前から欲しかったらしい。首を上下にふって、なんだかかわいい。

私は赤べこの絵を見つけて、この記事をすぐに読んでみた。なぜなら、クイズを出すのに、赤べこについて調べたばかりだったし、赤べこのモデルとなった牛の石像がある柳津虚空蔵菩薩に行ってきたばかりだったからだ。

今、世界中でコロナウイルスが流行し、福島県でも感染者が出ている。しかし、赤べこの故郷・会津地方からは、まだ一人も感染した人が出ていない。赤べこのいわれは本当なんだ。赤べこってすごいと私は思った。

ある日、妹が赤べこに、「今日の宿題、難しいけど解けるかな。」

と問いかけ、赤べこの首をゆらしながら、

「大丈夫、できるよ。」

と言っているのを見かけた。その時私は、赤べこは疫病払いだけでなく、人の心を安心させたり、穏やかにする力を持っているんだと感じた。首を横に振られるとひ定されている気持ちになるけれど、上下にゆっくりと動くあのしぐさに、